

## 平成28年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>				担当者 前角真由美 経費区分 ー 内線 3248
事務事業名	4121 交通安全対策事業				
所 属	130100 市民共創部・市民課				
施 策	03021500 交通安全対策の推進				
予算科目	会計	01 一般会計			
	科目	020111 総務費・総務管理費・交通防犯費			
	事業	010000 交通安全対策事業			
事業目的			事業概要・効果		
交通安全対策の総合的かつ計画的な推進を図り、交通安全意識の高揚及び交通安全対策を推進する。			県内では高齢者が関与する交通事故割合が増えており、高齢者交通安全教室や世帯訪問等により、交通安全意識の啓発を図った。		

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
警察署、交通安全協会等と連携した啓発活動 交通指導員・LPS隊員による街頭啓発活動等 183人	
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	人身事故の年間発生件数				
算式	須坂警察署での集計による				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績	165			
指標選定の理由	運転免許保有者数・自動車保有台数の増加、社会経済活動の24時間化等により、交通事故の発生が懸念されるため				
最終年度目標の根拠	事故多発か所等における安全対策の実施や道路交通環境の整備、関係機関と連携した交通安全意識啓発の取り組みを行うため				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		4,362	5,598
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	2,281	2,188
一般財源	2,081	3,410	
人員数(人)	正規職員	0.6	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.4	0.0
人員コスト	正規職員	4,324.8	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	412.0	0.0
	計	4,736.8	0.0
市民一人当たりの経費	0.2	0.1	
総額	9,098.8	5,598.0	

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	570	交通指導員・LPS隊員活動謝礼
11節 需用費	1,064	交通指導員制服、装備品等
13節 委託費	60	交通安全教育センター清掃草刈委託料
15節 工事請負費	174	路面標示設置工事
19節 負担金補助及び交付金	1,403	交通安全協会負担金 長野県民交通災害共済組合加入事務交付金
その他	1,091	臨時職員賃金・社会保険料、青パト他車両検査手数料

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	87	交通安全教育センター清掃草刈委託料（望岳台区）
15節 工事請負費	200	路面標示設置工事
19節 負担金補助及び交付金	1,432	交通安全協会負担金 長野県民交通災害共済組合加入事務交付金
その他	3,879	臨時職員賃金・社会保険料、青パト他車両検査手数料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	交通事故防止により、市民の生命・財産を守ることが必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	2月1日付、長野県交通安全運動推進本部長（長野県知事）から「交通死亡事故ゼロ500日達成」表彰を受賞した。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	LPS、交通指導員を委嘱し取り組んでいる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
交通死亡事故ゼロ500日を達成した。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>年度当初に農薬散布車による死亡事故が発生してしまったが、引き続き安全運転などの啓発活動をしていく。</p>		<p>警察署や関係団体と連携した啓発活動やPRにより、交通事故防止の意識を高める効果があった。</p>	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	
<p></p>	